

三重県競技力向上対策本部

第14回競技力向上対策委員会



令和2年2月20日（木）

プラザ洞津 末広の間



三重県競技力向上対策本部

第14回競技力向上対策委員会 資料目次

- 三重県競技力向上対策本部第14回競技力向上対策委員会 会議次第 P 3

- 説明・報告事項【公開】
 - (1) 三重県競技力向上対策本部会議等に係る開催経過 P 6
 - (2) 令和元年度競技力向上対策事業に係る実施報告及び成果 P 9

- 審議事項【非公開】
 - ・ 令和2年度競技力向上対策事業について（案） P 13

- 協議事項【非公開】
 - ・ 強化戦略プランの評価と国体強化費の配分について（案） P 17

- 参考資料
 - ・ 三重県競技力向上対策委員会規程 P 21
 - ・ 三重県競技力向上対策本部 競技力向上対策委員会名簿 P 23

三重県競技力向上対策本部
第14回競技力向上対策委員会 会議次第

令和2年2月20日(木)

プラザ洞津 末広の間

1 開 会

2 挨拶

3 説明・報告事項【公開】

- (1) 三重県競技力向上対策本部会議等に係る開催経過
- (2) 令和元年度競技力向上対策事業に係る実施報告及び成果

4 審議事項【非公開】

- ・令和2年度競技力向上対策事業について(案)

5 協議事項【非公開】

- ・強化戦略プランの評価方法と国体強化費の配分について(案)

6 閉 会

説明・報告事項

三重県競技力向上対策本部会議等に係る開催経過

年月日	内 容
平成23年 11月15日	県、県教育委員会、財団法人三重県体育協会の連名により、文部科学省、公益財団法人日本体育協会に開催要望書を提出しました。
平成24年 1月11日	公益財団法人日本体育協会理事会にて、平成33年第76回国民体育大会の開催地として内々定されました。
平成25年 5月29日	三重県競技力向上対策本部「設立会議」、「第1回本部会議」を開催しました。
6月 3日	三重県競技力向上対策本部「第1回競技力向上対策委員会」を開催しました。
11月19日	三重県競技力向上対策本部「第1回成年選手強化専門委員会」を開催しました。
12月13日	三重県競技力向上対策本部「第1回ジュニア・少年選手強化専門委員会」を開催しました。
12月16日	三重県競技力向上対策本部「第1回企業等連絡調整専門委員会」を開催しました。
平成26年 3月24日	三重県競技力向上対策本部「第2回競技力向上対策委員会」を開催しました。
4月22日	三重県競技力向上対策本部「第2回本部会議」を開催しました。
10月 1日	三重県競技力向上対策本部「第3回競技力向上対策委員会」を開催しました。
11月13日	三重県競技力向上対策本部「第2回ジュニア・少年選手強化専門委員会」を開催しました。
11月19日	三重県競技力向上対策本部「第2回企業等連絡調整専門委員会」を開催しました。
11月19日	三重県競技力向上対策本部「第2回成年選手強化専門委員会」を開催しました。
平成27年 3月19日	三重県競技力向上対策本部「第4回競技力向上対策委員会」を開催しました。
4月23日	三重県競技力向上対策本部「第3回本部会議」を開催しました。

9月4日	三重県競技力向上対策本部「第5回競技力向上対策委員会」を開催しました。
11月4日	三重県競技力向上対策本部「第3回成年選手強化専門委員会」を開催しました。
11月16日	三重県競技力向上対策本部「第3回企業等連絡調整専門委員会」を開催しました。
11月25日	三重県競技力向上対策本部「第3回ジュニア・少年選手強化専門委員会」を開催しました。
平成28年 3月24日	三重県競技力向上対策本部「第6回競技力向上対策委員会」を開催しました。
4月18日	三重県競技力向上対策本部「第4回本部会議」を開催しました。
7月20日	公益財団法人日本体育協会理事会にて、平成33年第76回国民体育大会の開催地として内定されました。
9月14日	三重県競技力向上対策本部「第7回競技力向上対策委員会」を開催しました。
11月16日	三重県競技力向上対策本部「第4回ジュニア・少年選手強化専門委員会」を開催しました。
11月16日	三重県競技力向上対策本部「第4回成年選手強化専門委員会」を開催しました。
11月22日	三重県競技力向上対策本部「第4回企業等連絡調整専門委員会」を開催しました。
平成29年 3月23日	三重県競技力向上対策本部「第8回競技力向上対策委員会」を開催しました。
4月18日	三重県競技力向上対策本部「第5回本部会議」を開催しました。
10月30日	三重県競技力向上対策本部「第5回企業等連絡調整専門委員会」を開催しました。
10月31日	三重県競技力向上対策本部「第5回ジュニア・少年選手強化専門委員会」を開催しました。
10月31日	三重県競技力向上対策本部「第5回成年選手強化専門委員会」を開催しました。
11月20日	三重県競技力向上対策本部「第9回競技力向上対策委員会」を開催しました。

平成30年 3月14日	三重県競技力向上対策本部「第10回競技力向上対策委員会」を開催しました。
4月16日	三重県競技力向上対策本部「第6回本部会議」を開催しました。
7月18日	公益財団法人日本スポーツ協会理事会にて、2021年第76回国民体育大会の開催地として正式に決定されました。
10月23日	三重県競技力向上対策本部「第6回成年選手強化専門委員会」を開催しました。
10月30日	三重県競技力向上対策本部「第6回企業等連絡調整専門委員会」を開催しました。
10月31日	三重県競技力向上対策本部「第6回ジュニア・少年選手強化専門委員会」を開催しました。
11月16日	三重県競技力向上対策本部「第11回競技力向上対策委員会」を開催しました。
平成31年 3月18日	三重県競技力向上対策本部「第12回競技力向上対策委員会」を開催しました。
4月16日	三重県競技力向上対策本部「第7回本部会議」を開催しました。
令和元年 10月28日	三重県競技力向上対策本部「第7回ジュニア・少年選手強化専門委員会」を開催しました。
10月30日	三重県競技力向上対策本部「第7回企業等連絡調整専門委員会」を開催しました。
11月1日	三重県競技力向上対策本部「第7回成年選手強化専門委員会」を開催しました。
11月21日	三重県競技力向上対策本部「第13回競技力向上対策委員会」を開催しました。

事業名	対象	取組内容	成果
ターゲットエイジ育成・強化事業 [リニューアル]	ジュニア・少年選手	三重とこわか大会で少年種別の中心となるターゲットエイジの育成・強化を図り、関係する競技団体やクラブチーム、学校と連携し、競技力向上を図るとともに、強化活動を支援。	①-1・①-2・①-3に、約を絞った効果的な強化費の支援を行うことにより、ターゲットエイジ、少年種別における全国レベルの大会での入賞件数が増加した。
①-1 チームみえジュニア育成事業		三重とこわか団体のターゲットエイジ及び三重とこわか団体のジュニア・少年選手の育成・強化活動を支援。	全国中学校総合体育大会等の全国レベルでのターゲットエイジの入賞件数22件であった。
①-2 ジュニアクラブ・運動部強化指定事業		三重とこわか団体において、少年種別の中心となる選手の育成・強化に取り組むジュニアクラブ・運動部15クラブを指定し、その強化活動を支援。	強化活動の支援により、全国中学校総合体育大会等の全国レベルの大会でのターゲットエイジの入賞件数は22件であった。
①-3 高等学校運動部強化指定事業		全国大会での活躍が期待できる高等学校運動部を69部強化指定し、強化活動を支援。	全国高等学校総合体育大会での入賞数は41件、国民体育大会の少年種別の入賞件数は38件であった。
② チームみえジュニア指定、指導者・保護者研修プログラム事業	ジュニア・少年選手	三重とこわか団体における少年種別の選手となる中・高校生及び三重とこわか団体後も活躍が期待できる小・中学生を「チームみえジュニア」として指定し、研修会を実施。	960名の「チームみえジュニア」を指定し、333名の中・高校生、227名の保護者、41名の指導者が指定証交付式及び研修会に参加し、チームみえの一員としての意識を醸成した。
③ トップジュニア育成事業	ジュニア・少年選手	三重とこわか団体や国際大会での活躍が期待できるジュニア選手18名を強化指定し、強化活動を支援。	強化活動の支援により、指定選手の国際大会での入賞件数は4件、茨城団体を含む全国大会での優勝件数は5件であった。
④ 女性アスリートタレント発掘・育成事業	ジュニア・少年選手	優れた資質のある女子ジュニア選手を発掘し、教育プログラムや専門プログラムを実施し、世界大会で活躍する選手を育成。	これまでの女子ラグビーに加え、新たに女子自転車競技のジュニア選手を発掘、2~4期生合計20名を発掘し、育成している。 なお、1期生(女子ラグビーのみ)5名は令和2年1月に全プログラムの受講を終了した。
⑤ トップアスリート応援事業	ジュニア・少年選手	三重とこわか団体や全国大会での活躍を自覚し、県外からの転入を伴って三重県内の高等学校に入学した選手10名に対する給付金の支給により安定した強化活動を支援。	給付金の支給により、団体への出場者5名、うち3名が入賞に貢献した。
⑥ チームみえ団体選手強化事業[統合]	選手・成年	「選抜期」における天皇杯得点1,400点~1,800点、天皇杯順位10位以内の獲得をめざすため、活躍が期待できる本県代表選手(チームみえ)に対する重点的な強化を目的として、県内競技団体が実施する強化活動を支援。	茨城団体での入賞件数は106件と前大会より23件増加したものの、天皇杯順位は1,181.5点14位、皇后杯順位は119点20位。選抜期の目標としていた10位以内を達成することができなかった。
⑦ 女性アスリートサポート事業		女性アスリートが抱える諸課題について、指導者の知識習得を図るとともに、サポート体制を構築。	研修会を2回実施し、女性アスリート特有の諸課題についてサポートを行った。
⑧ 大学運動部、企業・クラブチーム強化指定事業	成年選手	三重とこわか団体で活躍が期待できる大学運動部、企業・クラブチームを強化指定し、強化活動を支援。	年度途中にも新たに1チームを追加指定し、事業の推進を図った。茨城団体では、強化指定している陸上競技、サッカー競技、馬術競技、ハンドボール競技、弓道競技、剣道競技が入賞。獲得総得点は147点で昨年より49点増加した。
⑨ 東京オリンピック競技大会等選手強化指定事業		東京オリンピック競技大会及び三重とこわか団体等で活躍が期待できる成年選手を強化指定し、強化活動を支援。	茨城団体には、テニス競技及びウエイトリフティング競技の3名の選手が出場し、入賞件数は5件(3件の優勝を含む)であった。
⑩ トップアスリート就職支援事業		三重とこわか団体での活躍が期待できるトップアスリートに対し、県内企業等への就職支援を実施。	7月に広報誌「アスジョブみえ」を発行し、アスリートを採用した県内の企業や事業所と採用されたアスリートに関する広報を進めた。県内企業に対しては、トップアスリートとの採用依頼を行った結果、80名の就職内定を得ることができた。(1月31日現在)
⑪ スポーツ指導員配置事業	指導者	全国・国際スポーツ大会で活躍するトップアスリートまたはその指導者を競技団体が実施する強化練習や合宿等に派遣することで本県選手の競技力向上を図ること、また、トップアスリートとして成年種別の競技得点を獲得。	茨城団体(冬季団体を含む)には、14名のスポーツ指導員が出場し、19種目で入賞を果たした結果、202.5点の競技得点を獲得した。
⑫ ディレクター配置事業[新規]		全国・国際スポーツ大会で活躍実績のある指導者をディレクターとして競技団体に配置し、成年種別の戦力増強を計画的に推進することで三重とこわか団体において天皇杯・皇后杯を獲得するとともに、大会終了後も安定した競技力を確保。	ディレクターに全国・国際スポーツ大会で活躍するトップアスリートの情報を提供していただくとともに、スカウト活動にも取り組んでいただくことで、14名のトップアスリートを獲得した。(1月27日現在)
⑬ チームみえ・コーチアカデミーセンター事業		指導者育成のため、みえコーチアカデミーによる意識醸成と指導力向上を図るとともに、みえマルチサポートシステムによる指導体制の構築を行う。また、相互の情報共有を促進しチームみえの育成を図る。	みえコーチアカデミー事業をのべ4日実施するとともにみえマルチサポートシステムによりサポートスタッフを派遣した。受講者40名のうち16名が入賞者を輩出。
⑭ 競技用具等整備事業	環境整備	三重とこわか団体での競技力向上をめざし、強化活動に必要な特殊用具備品を整備。	カーブ競技、セーリング競技、ホーシ競技、自転車競技における係る備品、馬術競技に係る競技場を整備した。 獲得総得点は93点となった。
⑮ みえのアスリート応援・発信事業	広報発信	本県代表選手やチームを紹介する広報誌の発行及び本県選手用のポロシャツの作成。	年2回(6月、11月)に広報誌「アスリートNEWS」を発行し、選手の活躍や団体の結果に関する広報を進めた。また、ポロシャツの作成により、「チームみえ」の回帰力がさらに強まった。

審議事項

令和2年度競技力向上対策事業について(案)

協議事項

強化戦略プランの評価と国体強化費の配分について（案）

參考資料

三重県競技力向上対策委員会規程

(趣旨)

第1条 この規程は、三重県競技力向上対策本部規約第11条の規定に基づき、三重県競技力向上対策委員会（以下「委員会」という。）の組織および運営に必要な事項を定める。

(業務)

第2条 委員会は、本部会議から付託および委任された専門的な事項について、調査・審議する。

(役員)

第3条 委員会に次の役員を置く。

(1) 委員長 1名

(2) 副委員長 若干名

2 役員は、本部長が委嘱する。

3 委員長は、委員会を代表し、会務を総理する。

4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるときは、その職務を代理する。

(委員)

第4条 委員は、次の各号に掲げる者のうちから本部長が委嘱した委員をもって構成する。

(1) 県関係者

(2) 市町関係者

(3) 産業・経済関係者

(4) 学校・スポーツ団体関係者

(5) 学識経験者

(6) その他本部長が特に必要と認める者

(委員の任期)

第5条 委員及び役員の任期は、本会の目的が達成された日までとする。ただし、委員が就任時の所属機関及び団体等の役職を離れた場合、その委員は辞任したものとみなし、その後任者が前任者の残任期間を務めるものとする。

(会議)

第6条 委員会は、委員長が招集し、委員長が議長となる。

2 委員会は、委員の過半数の出席がなければ開会できない。

3 委員会の議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

4 委員長が必要と認めるときは、委員以外に専門的知識を有する者の出席を求め、必要に応じて専門委員会を開催し、意見を聞くことができる。

(委任)

第7条 この規程に定めるもののほか、委員会の運営に必要な事項は、委員長が本部長の承認を得て別に定める。

附 則

この規程は、平成25年5月29日から施行する。

三重県競技力向上対策本部 競技力向上対策委員会名簿

(委員長：1名、副委員長：1名、委員：21名、計：23名)

選出区分	所属機関・団体・役職名	名前
県関係	三重県地域連携部国体・全国障害者スポーツ大会局長	辻 日出夫

【副委員長：1名】敬称略

選出区分	所属機関・団体・役職名	名前
学校・スポーツ 団体関係	公益財団法人三重県体育協会理事長	村木 輝行

【委員：21名】敬称略、順不同

選出区分	所属機関・団体・役職名	名前
県関係	三重県教育委員会事務局次長	森下 宏也
市町関係	伊勢市国体推進局次長	松葉 清高
	東員町教育委員会事務局社会教育課長	石川 清
産業・経済関係	株式会社エクセディ上級執行役員グローバル人材開発本部長	山村 佳弘
	株式会社デンソー大安製作所長	堀 誠
	本田技研工業株式会社生産本部鈴鹿製作所生産業務部総務課課長	矢野 功二
	相好株式会社代表取締役	山本 将之
学校・スポーツ 団体関係	公益財団法人三重県体育協会強化・普及委員会委員長	浦田 安
	三重県中学校体育連盟理事長	世古 浩平
	三重県高等学校体育連盟理事長	藤田 隆司
	鈴鹿市立平田野中学校バスケット部顧問	北林奈津子
	県立宇治山田商業高等学校陸上競技部顧問	小池 弘文
	県立朝明高等学校レスリング部顧問	橋爪 幸彦
	株式会社ヴィアティン三重ファミリークラブ強化部長兼アカデミーダイレクター	樋口 士郎
	三重高等学校ソフトテニス部顧問	神崎 公宏
	皇學館大学柔道部監督	佐藤 武尊
	三重バイオレットアイリス監督	梶原 晃
	三重県水泳連盟強化責任者(競泳)	八田 知宏
	三重県ボート協会強化責任者	丸山 亮太
学識経験	社会医療法人峰和会鈴鹿回生病院院長	加藤 公
	日本体育大学体育学部教授	杉田 正明



三重ととわか国体

第76回国民体育大会 2021年 9月25日(土)～10月5日(火)

ときめいて人 かがやいて未来 2021

三重ととわか大会

第21回全国障害者スポーツ大会 2021年 10月23日(土)～10月25日(月)

